

平成26年度活動報告



札幌水源の森づくり2014



野幌森林づくり塾2014



地域のもりから学ぶ森林づくり



みんなで森林づくり

林野庁 北海道森林管理局

石狩地域森林ふれあい推進センター

目 次



一年間のあゆみ（平成26年度）

自然再生・生物多様性の推進

1 市民参加の「札幌水源の森づくり」活動に対する支援	1
・ 札幌水源の森林づくり2014	1
・ 地域のもりから学ぶ森林づくり	1
2 野幌森林公園における野幌プロジェクトの展開	2
・ 団体型森林づくり	2
・ みんなで森林づくり／野幌森林づくり塾	3
・ 外来種対策／野幌自然環境モニタリング	4
・ 市民団体等との連携による生物多様性関連情報の収集	4

森林環境教育の推進

・ 教育機関による生物多様性への支援	4
・ 市民団体が実施する勉強会への支援	4

平成27年度の主な取組予定の概要	5
------------------	---



石狩地域森林ふれあい推進センターの取組

石狩地域森林ふれあい推進センターの主な活動区域は、都市近郊の丘陵森林、山岳林等の豊富な森林資源と多様な森林景観に恵まれた国有林です。

ここでは森林の保健休養的利用の増加や平成16年の台風18号による風倒被害の発生等を背景に、市民の皆さんが森林とのふれあい、森林づくりへの参加などについて関心が高まっています。こうした状況を踏まえ、平成26年度は次のような取り組みを実施しました。

札幌市内を貫流する豊平川の上流・源流部に位置する定山溪の国有林については、水源林として重要な役割を果たしているほか、ボランティア団体等の活動の場や森林環境教育の場として利用がみられるなど、市民生活とのかかわりが深い地域になっており、この市民にとって貴重な水源林を国民の森林として次代へ引き継いでいくため、「札幌水源の森づくり2014」を開催しました。

また、定山溪国有林水源の森づくりの一環として地域に根ざした取り組み「地域のもりから学ぶ森林づくり」を開催し、森林の調査・観察、森林生態系を学ぶ活動を市民参加で行いました。

平成16年の台風により約77haに及び風倒被害を受けた野幌森林公園において、野幌の100年前の原始性が感じられる自然林を目指した森林づくりの「野幌プロジェクト」を平成17年度より開始し、市民の皆さんと協働・連携した取り組みとして『団体型森林づくり、みんなで森林づくり、野幌森林づくり塾』を行いました。また、森林再生の過程を検証するため『森林再生モニタリング』を継続実施しています。

さらに、森林環境教育の場としての定山溪国有林及び野幌森林公園等において、様々な民間団体等からの要請に応じて講演などの支援活動を行っています。



一年間のあゆみ（平成26年度）

自然再生・生物多様性保全の推進

自然再生、森林の整備・保全等に自主的に取り組むNPO等及び教育関係者の支援要請に対応することとし、台風等によって生じたギャップ箇所（上木のない開放空間）における森林の再生、森林の有する水源かん養機能等の公益的機能の普及啓発、良好な自然環境が現存する天然林の植生保護等について、関係機関等と連携しつつ取り組んでいます。

このような取り組みを通じて、森林とのかかわりを深めながら、健全で多様な森林が次世代にわたって維持することを目指しています。

1. 市民参加型の「札幌水源の森づくり」活動等に対する支援

定山溪の国有林「水源の森」は、札幌市民約190万人の生活を支える水道水の水源として、おいしい水を育む重要な役割を果たしています。札幌市やボランティア団体等と連携し、多くの市民の皆さんの参加を得て、この「水源の森」を貴重な財産として守り育て、次代へ引き継ぐこととしています。

札幌水源の森づくり2014

H26.08.30（土）札幌市の中心街で市民参加によるポット苗木づくり

札幌市の中心、創成川公園・狸二条広場を会場に札幌市(みどりの推進課・水道局)との共同主催、森林ボランティア団体「北ぐにの森づくりサークル」、「平岡楡の会」、「NTTタウンページ(株)」等との連携により開催しました。市内外から300人余りが訪れ、再生ダンボール紙でつくる「カミネッコン」（東三郎北大名誉教授の考案）を使用してトドマツ、ミズナラ、ヤチダモの苗木で、「水源の森」現地に植栽するポット苗木づくりをしました。



市民参加のポット苗作成



ポット苗のピラミット

H26.10.04（土）定山溪国有林内でポット苗木を植栽

定山溪の国有林内に創成川公園・狸二条広場で作ったポット苗木を札幌市(みどりの推進課・水道局)、「北ぐにの森づくりサークル」、「NTTタウンページ(株)」、「NPOシーズネット」の皆さんなど総勢38名で植栽しました。



苗木を定山溪に植栽

地域のもりから学ぶ森林づくり

札幌市民の水瓶、定山溪国有林で地域に根ざした取り組みとして、「地域のもりから学ぶ森林づくり」を実施、森林の調査観察、森林生態系（生物多様性）を学ぶ活動を市民参加で行いました。

H26.05.14（水）第1回「森林教室」を開催

定山溪中学校の生徒が、市街地に近い国有林で、「カタクリ」「エゾエンゴサク」を中心に植物の種類・数を調査しました。身近な自然を知ること、生物多様性を感じることが出来るよう取り組みました。



春植物を調べる生徒さん

H26.06.06（水）第2回「森林教室」を開催

定山溪小学校の校庭で、樹木の高さを測る器械を使い、高さを測った後、豊平川遊歩道を通して対岸の国有林に入り、実際の樹木の高さを測り、自然観察を行いました。



こうやって測るんだよ

H26.07.09（水）第3回「森林教室」を開催

定山溪中学校の生徒を対象に無意根山登山を実施しました。北海道大学の春木雅寛氏を講師に、林道から無意根尻小屋を目指して歩き、大蛇ヶ原湿原で湿原の生成過程や、モウセンゴケなどの湿原の植物の勉強をしました。



一列になって湿原を歩く

H26.09.24（水）第4回「森林教室」を開催

定山溪中学校で5年前から育てていた苗木でカミネッコンを作り、ふるさとの森林へ帰すこととしました。苗木は、奥定山溪の森林で採取した広葉樹のタネから育てたもので、帰りには、天然に発生した稚幼樹の観察も行いました。



カミネッコンを植えましょう

H27.02.25（水）「定山溪もりづくり報告会」で森林教室の報告

地元市民団体が主催し、今年度行われた森林教室の報告を行いました。定山溪小学校や中学校からも、自分たちの体験から発見したことや、学んだことについて発表がありました。また、第3回の講師、春木先生から「定山溪の森林と水」をテーマに特別講演をいただいた外、パネル展示も行ないました。



定山溪小学校でも発表

2 野幌森林公園における野幌プロジェクトの展開

台風18号で被害を受けた野幌の森林を、100年前の原始性が感じられる自然林に再生するため、NPO等広く市民の皆さんの参加を呼びかけ、野幌の豊かな自然のすばらしさ、森林に関する理解の醸成や、市民の皆さんとの協働による森林づくりに努めることとし、「野幌プロジェクト」を平成17年度から取り組んでいます。

団体型の森林づくり

森林づくりの協定を締結したNPO、大学、企業等10団体が植栽、保育等について計画的、継続的に取り組んでいます。当センターでは、団体の皆さんに対して様々な支援をしています。



レディースネットワーク21

H27.02.12（木）野幌森林再生活動連絡会

江別市大麻公民館において「団体型森林づくり」に参加する10団体の皆さんと、空知総合振興局及び北海道開拓記念館のオブザーバーの方々が参加し、平成26年度の活動状況等の意見交換を行いました。

みんなで森林づくり

団体（学校含む）や個人等広く市民の皆さんに参加していただき、植栽、保育等の森林づくりに取り組んでいます。



野幌森林再生活動連絡会

H26.06.18（水）～19（木） 「みんなで森林づくり」

毎年、平日の2日間に北海道開拓記念館近くの国有林で実施しています。今年は、延べ20名の参加があり、保育（下刈）を行いました。「NPO法人北広島森林ボランティア・メイプル」の会員の方が指導にあたっていただきました。



みんなで森林づくり

野幌森林づくり塾

森づくり作業の経験者を対象に、森林づくりに関する知識の習得と森林づくり体験をしながら、森林と人とのかかわり等に関してさらに理解を深め、将来的には自主的、積極的なボランティア活動の展開につながることを期待し、3回開催しました。

H26.06.28（土）第1回 野幌森林づくり塾

塾生の方々が毎年、下刈作業、成長調査を行っています。また、前年は森林の大きさ（蓄積）を調べましたが、今年は抜き切り（間伐）の方法を調べてみることにし、グループ分けして一本一本調査しました。目的としたのは、適切な間伐数量の算出ですが、少し難しかったようでした。



第1回：植えた木の高さを計測

H26.08.02（土）第2回 野幌森林づくり塾

野幌の森林公園区域に生息する外来生物について、元酪農学園大学教授の村野紀雄氏を講師として招き勉強しました。午後からは、GPSの使用法を学び、応用としてナビ機能を使った宝さがしに取り組みました。



第2回：村野先生の解説

H26.11.01（土）第3回 野幌森林づくり塾

秋の野幌の自然を観察しながら森林のことを学ぶため、講師に北大総合博物館の春木先生を招いて実施しました。林内を歩きながら、道端の植物や土壌中のミミズなどに目を向け、公園内の「瑞穂の池」にも寄りました。ミズナラの大木に空を仰ぎ見ながら、すがすがしい秋の1日、私たちの身近な自然「野幌森林公園」を感じる1日でした。



第3回：顕微鏡でミミズを観察

外来種対策

ニセアカシアについては、平成20年3月、平成22年3月に伐採した母樹の萌芽発生状況等の観察を行っています。また、再生活動地には特定外来生物のオオハンゴンソウが生育しているので、これら外来種の除去に着手しているNPO団体を支援し、7月27日に実施された除去作業に参加しました。



オオハンゴンソウの処理

野幌自然環境モニタリング

森林の回復状況を生態系として把握するために、学識経験者からなる「野幌自然環境モニタリング検討会」の指導の下、植生、歩行性甲虫、菌類及び野生動物の4項目からなるモニタリング調査を実施しています。



現地検討会

H26.10.22（水）第19回「野幌自然環境モニタリング検討会」

森林再生活動地などでの現地検討後、江別市大麻公民館において、今年度調査結果の状況と今後の課題、報告会の開催等について検討を行いました。



第20回検討委員会

H27.02.13（金）第20回「野幌自然環境モニタリング検討会」

平成26年度モニタリングの調査結果の分析と、平成27年度モニタリング調査の進め方などについて検討を行いました。

市民団体等との連携による生物多様性関連情報の収集

当センターでは、森林教室などの企画のお手伝いや、森林に関する講演会・勉強会の支援、さらには、自然観察会や森づくりなどのイベントの直接指導なども実施しています。

森林環境教育の推進

教育機関による生物多様性への支援

千歳市立泉沢小学校が石狩森林管理署と「遊々の森」協定を結び、「かがやきの森」で活動していますが、当センターとしてもその活動を支援しています。

市民団体が実施する勉強会への支援

市民団体が自ら研修などを実施する際に、森林や動植物、大切な森を守るため、環境問題を身近なものとして、考える機会となるよう支援を行いました。



かがやきの森の枝打ち作業

平成27年度の主な取組予定の概要

自然再生・生物多様性保全の推進

市民参加型の「札幌水源の森づくり」活動等に対する支援

森林ボランティア団体の支援要請に応え、(1)台風18号による被害箇所を対象に森林再生に取り組むこと、(2)札幌市民の生活を支える水源林として定山溪国有林が果たしている優れた役割を普及啓発すること等を通じて、定山溪国有林（水源の森）を市民の貴重な財産として次代へ引き継いでいくことに資するため、森林ボランティア団体、札幌市と連携し、

- ①札幌市中心街において、市民参加による「カミネッコ」を使用したポット苗木の製作
- ②ポット苗木は、定山溪国有林内のギャップ箇所に植栽
- ③定山溪地域に根ざした取組み「地域のもりから学ぶ森林づくり」活動の支援等に取り組めます。

「野幌プロジェクト」の推進

「野幌の100年前の原始性が感じられる自然林を目指した森林づくり」に取り組む、都市と自然との接点である都市近郊林としての魅力を一層高めるため、

- (1) 市民参加の森林づくり・再生の推進
 - ①NPO等10団体が取り組む「団体型森林づくり」への各種支援
 - ②「みんなで森林づくり」の実施
 - ③「野幌森林づくり塾」の開催
 - ④「野幌森林再生活動連絡会」の開催
- (2) 野幌自然環境モニタリング検討会」の開催と各種モニタリングの実施
- (3) 「調査研究の場」を対象とした森林再生等の調査研究に対する支援
- (4) 外来種に対する検討及び対策の実施
- (5) 市民参加の森林づくりや野幌の魅力を発信する各種取組の実施
- (6) 間伐対象箇所における野生生物調査(希少種サルメンエビネ生育調査)等に取り組めます。

森林環境教育の推進

民間団体等が行う森林環境教育に対する支援

森林環境教育を行う民間団体や自治体等の支援要請に応え、森林教室をはじめとする森林・林業体験学習に取り組むとともに、森林環境教育の指導者の養成に資するため、

- (1) 森林環境教育に知見を有するNPO、教育関係者等との連携
- (2) 森林環境教育ガイドブック等を活用した環境教育、森林でのマナー指導等の実施等に取り組めます。



秋のさっぽろ湖

案内図



お問い合わせはこちらまで

林野庁 北海道森林管理局 石狩地域森林ふれあい推進センター
064-0809 札幌市中央区南9条西23丁目1番10号
TEL 011-533-6741 FAX 011-533-6743
ホームページ http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/isikari_fc/
E-mail h_ishikari_f@rinya.maff.go.jp